

花火ダイアリー5



ぎふ長良川花火大会実行委員会事務局

森島 悠

大輪の花火が大空に咲き誇りました

第2回ぎふ長良川花火大会は、8月10日(土)に盛況のうちに無事に開催することができました。会員企業をはじめ関係機関、地元住民の皆様におかれましてはご支援、ご協力賜り誠にありがとうございました。

快晴・猛暑で迎えた当日、私は午前中よりボランティアの方々をはじめ関係各所のスタッフ約300名の受入れ準備のため、集合場所の長良川国際会議場で業務にあたりました。ボランティアスタッフの任務は16時の自由席先行入場開始と同時に本格的にはじまります。私もスタッフの方々と一緒に、いの一番に入場されるお客様のお出迎えに入場ゲート付近へと移動しました。

そして16時。開場と同時に多くのお客様が花火を楽しみにしながら小走りで自由席エリアに入っていきます。お客様のワクワク感が全身から伝わるこの光景は、今回の花火大会のどの瞬間より、私の心にいちばん深く焼き付いています。

こうしてどのゲートからも無事入場が進んでいき、瞬く間に自由席はお客様で埋め尽くされていきました。さあ、ここからが花火大会の本番です。実行委員会事務局スタッフの無線機には、長良橋から金華橋まである広大な会場の各所より、トラブルの情報が入ってきます。その会話を確認し、会場内の状況を常に把握し、スタッフ全員で分担して対応します。またスタッフ用のLINEや突然の荒天に備えるため気象情報の確認は欠かせません。加えて広報用のFacebookの更新を行うなど、情報収集と発信の密度を高くするのも、当日ならではの業務です。

そしていよいよ19時半、晴夜の空に大輪の花火が打ち上がりました。私は会場からの大きな歓声や拍手を耳に、しばし安堵しながら引き続き業務にあたりました。

現在、大きな事故の報告もなく2年目のぎふ長良川花火大会を終えることができ、事務局スタッフ一同まずは一安心しているところです。来年以降も持続的に開催できるよう鋭意邁進してまいります。引き続きご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。